



ぼっかぼか

函南病院新豊部



第10回「豊かないのち講演会」



日野原先生をお迎えして

平成十七年三月二日(水)午後六時三十分、県民文化ホール・オレンジで「第十回豊かないのち講演会」が開催された。

徳岡副院長と当院緩和ケア病棟がお手伝いしている高知緩和ケア研究会主催の「豊かないのち講演会」も第十回を向かえることとなり、今回は聖路加国際病院、理事長・日野原重明先生を講師にお招きし、「生き方上手」と題しご講演いただいた。

二日は寒さの厳しい中、当日チケットを求めて午後四時から並んでくださった方もおり、続々と集まる人並みに総入場者数は一三〇〇人を超えた大盛況となった。

少年の心で:

日野原先生は回りの方が気を使われる様子が、かえってお邪魔に見えるほどお元気で足取りも軽やか、常に少年のような向上心と向学心をもたれ何事に意欲的であって少しもえらぶる事



聖路加国際病院理事長 日野原重明先生

なく親しみやすいお人柄、「人生の目標、お手本となる人物像を心に描きなさい」と、お話のなかにあつたが先生を手本にと思ふことは勝手だが、行ふのはたいへんである。

相変わらずの日野原節で会場をほのぼのとさせたり笑わせたり、解りやすくご講演いただき一同

幸せな時を過ごすことができた。これからの先生の益々のご活躍を願うと共に、先生からいただいたプラスのエネルギーを私達がどう自分に蓄積させてゆかか考えてゆきたいと思う。

講演会始まって以来の入場者数にも関わらず、トラブルもなく速やかに講演会を終了できた事は、高知緩和ケア研究会の皆さんのご尽力と参加してくれたたくさんのボランティアの皆さんのおかげだと思えます、ほんとうにお疲れ様でした。



日野原先生を囲んで

個人情報保護法設置

個人情報保護法って何？

四月一日より個人情報保

護法が施行されることは皆
さんも新聞その他でご存知
だと思えます。では四月一

日からいったい何が変わる
のでしょうか？ここでは医
療の場における個人情報の
保護についてお話したいと
思います。

まず「個人情報」とは何
でしょうか？厚生労働省よ
り出されたガイドラインで
は氏名、性別、生年月日そ
して住所、職種などと規定
されていますが、病院に訪
れることよって作成され
る診療録や検査データ、処
方箋などもすべて対象にな
ります。つまり医療という
性格上、医療行為によつて
発生するほとんどすべての
事柄が含まれるわけで医療
行為そのものが個人情報で

あるとも言えます。

目的の明確化

個人情報保護されるべ

きであることは当然ですが、
そこで問題となるのは診療
上の必要性と個人情報の保
護というある意味で相反す
る立場にどこで線引きを行
うかという点です。基本の
第一は個人情報を目的以外
に使用しないということです。
例えば保険会社等への情報

の提供を行うのは基本的に
本人の同意がある場合に限
られます。ただ、種々の理
由で提供を行う場合の除外
規定も定められています。
また、病状の説明等につい
ても誰に説明してよいかは
本人の意思が第一に尊重さ
れます。つまり、個人情報
を扱う場合には本人の同意
の上で物事を進めましよう
というのが基本的な考え方

です。

お名前を確認させて頂きま

す。基本はそうなのですが、
実際には様々の問題が生ず
る可能性があります。例え
ば外来で患者様の名前をお
呼びするのをやめるのか？
病室の名前はどつするのか？
カルテの背表紙や点滴に書
かれた名前はどつするのか
という話もあります。

「名前」というのは医療行
為を行う上で本人確認を行
う基本です。これを例えば
番号で代用するというのは
システム上の問題も含めて
それほど簡単なことではあ
りません。当院では当面
「名前」で個人を特定する
ことは医療上必要であると
考えていますが、名前を出
してほしくないという方に
は別の方法で対応したいと
考えています。こうした点

は医療側の考えだけでなく
患者様側からの要望も聞き
ながら適切な方法を見出し
てゆかねばならないと思っ
ます。

ご相談下さい

こうした個人情報保護に
関する病院の基本的姿勢は
プライバシーポリシーとし
て掲示をしなければならな
いことになっていきますし、
個人情報保護についての質
問をお受けする窓口も設置
されます。個人情報保護は
大切ですが、法律によつて
医療の現場が無機格的になっ
てしまうのは医療者側にと
っても医療を受ける側にと
っても望ましいことではな
いとも考えています。是非、
皆さんのご理解ご協力をお
願いします。

院長

うちの 子まん

★村上さんちのマロくん



「ここは僕のお気に入りの場所なんだ、いいでしょう」

★西岡さんちのミュ君とロンくん



「ねえねえどこ、どこ見てたらいいの」

ロンです



「おっ」

「ご主人様のことを考えてたら一日が終わってました、朝ごはん食べていないことに気づいたとです」



「ハイ、パチリ！決まったニヤ！」

ロンです、ロンです、ロンです



うらやましい子ちゃん

★大崎さんちの「りゅう」



女の子だけど名は「りゅう」

好きな物は「かちゅお節」

好きな場所は、「ん～お風呂場とおねえちゃまの膝の上」

大崎家で大人気のりゅうちゃんです。ご主人様と一緒に美味しいものが大好き！でもお刺身は食べれないせいたく猫です。ごまったもんだニャ～

免疫力を高める食事 ~ 栄養部より ~

花粉症の方にはつらい季節になりました。某テレビ番組では「ヨーグルトが花粉症に効く」といっていましたが、単品に頼らずにバランスの良い食事をして免疫力を高めることをお勧めします。免疫を高めることによりアレルギーやアトピー性皮膚炎、自己免疫疾患など免疫疾患にかかりにくくなります。



免疫力を高める食材

野菜	ほうれん草、ブロッコリー
香味野菜	にんにく、しそ、ねぎ
菌類	ヨーグルト、しいたけ、しめじ
動物性食品	あさり、カキ、ほたて、しじみ
果物	バナナ、キウイ、パイナップル
海藻類	ひじき、海藻ミックス、わかめ

免疫力を高める5要素

バランスよく食べる	よく笑う	いろいろな食材を食べる	適度な運動をする	十分な睡眠をとる
-----------	------	-------------	----------	----------



献立紹介 (1人分)

海藻ミックスのかき揚げ

材料：海藻ミックス...もどして40g 桜海老...5g ごま油...小1
小麦粉...1/4カップ 塩...少々 油...大1/2

ボールに絞った海藻と桜海老を入れごま油を加え混ぜる。

小麦粉を加え全体をまんべんなく混ぜ、水を少しづつ加えまとまる程度の粘りにする。

175～180度の油に少しづつ落とし入れ、かりっと揚げる。油をきり、塩をふる。

好みでレモン汁をかけてもよい。

納豆とチーズのお焼き (2人分)

材料：納豆...100g とき卵...1個分 プロセスチーズ...30g 青じそ...10枚
小麦粉...1/4カップ 塩...少々 油...大1/2

ボールに納豆を入れ泡立てるようにかき混ぜる。

卵を加えよく混ぜチーズ、青じその半量を加え混ぜ、小麦粉と塩を加えて全体を混ぜ合わせる。

フライパンに油を熱し を1/6量くらいずつ丸く流し入れる。残りの青じそを等分のにのせ3～4分かけて両面をこんがり焼く。好みで塩をふって食べる。



参考文献：料理と栄養

緩和ケア病棟の四季

部署別紹介
東5F・緩和ケア病棟

当院に緩和ケア病棟が開設されて五年近く立ちました。

人が生きることを尊重し誰にも例外なく訪れる「死への過程」に敬意を払い、死を早めることも遅らせることもいたしません。痛みやその他の不快な身体症状の緩和に努力いたします。精神的・社会的な援助を行い患者様に死が訪れるまで生きていくことに意味が見出せるようなケアを努力いたします。ご家族が困難を抱えそれに対処されようとする時、患者様の療養中から死別された後までご家族を支えます。これらの理念を元に、手探り状態のスタートから今日まで沢山の人の出会いがあり、その中で多くのことを学ばせていただきながら私たちも少し成長してきたように思います。

高知県には五施設の緩和ケア病棟があり他県に比べ多いのですが、残念ながら高知市内に集中しています。当院へも東は東洋町、西は土佐清水の方が入院されました。遠隔地での療養生活は、ご本人・ご家族共に精神的経済的負担が大きかったと思います。その中で私たちができることの一つは、少しでも楽しく過ごせる時間を持つことだと思います。当病棟で四季折々に

行っている行事を紹介したいと思いません。

二月三日の節分は、邪気払いとして前日の夜、柊に雑魚を付け各部屋の入り口に飾ります。当日には医師が鬼のお面をつけて病室を回り患者様に豆を投げてもらいます。遠慮しながら投げた人・思いつきり投げる人と様々ですがみんな「鬼は 外!」副は「内!」と「ニコニコ顔」です。

四月八日は花祭り。お釈迦様の誕生日で、ポランテアで来て下さる方のお琴を聴きながら桜餅・お抹茶・甘茶などをいただきます。甘茶は本来、灌仏会に甘露をなぞらえて釈迦像の頭上に注ぐものですが、甘味を有するので糖尿病の患者様に砂糖の代わりとして用いることもあるそうです。何でも試してみたい私はもちろん舐めてみましたが、甘いとは感じず、美味しいものではありませんでした。

七月七日の七夕は、患者様・御家族・スタッフみんなで短冊に願い事を書いて七夕飾りと一緒に吊るします。三年前からの大イベントとなったのがデイルームでのソーメン流しです。シス



テム部の松下主任・楠瀬さんには、毎年青竹を切つて削つてと大変な苦勞を掛けていますが患者様の子供さんやお孫さんたちにも喜んでいただき、その弾けるような笑顔の横に患者様の優しい笑顔が見えるとスタッフ一同準備の疲れは吹き飛んでしまう嬉しさを感じています。その日の看護師は夜勤者以外全員浴衣で参加することも恒例となつてしまいました。

九月のお月見は暦日に合わせて中秋の名月にしますが、残念ながらデイルームからは本物の満月は見えず、いつも「また嘘月やねえ」と言われながら窓に貼った絵の前で楽しんでます。

年の瀬のクリスマス会は、徳岡副院長のサンタクロースがシートで作った袋から、一人一人にプレゼントをお渡しします。心ばかりの品物ですが患者様はとても喜んでくださいます。また看護師のハンドベルも恒例となりましたが、集まって練習する時間は少なく毎年ドキドキものです。間違いは愛嬌として許してもらっていますが、それはその後の先生のお蔭です。明るくて歌とピアノがとっても上手な市川先生が

控えていく下さるからです。お母様も行事の度に優しい絵付きの歌詞カードを作ってきてくださり、みんなが癒されています。

その他、春には桜の下でパーベキュー、秋には紅葉狩りでパーベキューをすることも恒例となりました。

また毎週金曜日のお茶会では退院されたご家族の方が、ふきのとう・オクラの花・どんぐりなど季節を感じさせてくれる草花を持ってきてみんなを和ませてくれています。他にもデイルームのカラオケで、その時の雰囲気やリクエストに合わせて唄ってくださる方もおいでます。

徳岡副院長をはじめイベント好きの私たちですが、人前に出ることが苦手な方もおられます。その方たちへの配慮を忘れることなくそれぞれの考え方を生き方を大切に、その人らしさのお手伝いができるよう患者様やご家族医療スタッフが話し合える場を持ち一緒に良い生活ができる方法を見つけていきたいと思っています。

何かまた新しいアイデアがありましたら教えてください。「ここに来て良かった」その一言に支えられ、これからも我が家の延長として生活できる病棟を目指していきたいと思っています。

尚、見学をご希望の方はいつでもご連絡ください。

緩和ケア病棟師長
朝比津多

《クリスマス会》 ~西2階~



12月23日西2階は一日早いクリスマスイブを行いました。職員がサンタクロースに扮し各病室を回りながらプレゼントを渡すとびっくりされながらも皆様とても喜んで下さいました。その後はサンタクロースとツ

ーショット!最初は恥ずかしいと言われる方もいましたがにっこり笑ってカメラに納まってくれました。後日できあがった写真を配ると「まあきれいに写っちゅう」と喜んで下さって嬉しく思いました。

ふれあい広場



《クリスマス会》 ~緩和ケア~



12月22日緩和ケア病棟で市川先生伴奏の「冬のソナタ」に真っ白い雪原を思い浮かべながら、クリスマス会を催しました。徳岡先生「扮するサンタクロースが患者様一人一人にプレゼントを手渡されパチリ!看護師によるハンドベル隊が登場しジングルベル・聖この夜を演奏、緊張のあまり少し音が外れるのはご愛嬌...

...。笑いのあとは御馳走を頂き暫しのご歓談、思い出の時を刻みました。



《もちつき大会》 ~もちつきをやるう~

昨年の12月23日に餅つきが行われました。院長の“今年は餅つきをやるう”の一言から計画がスタートしましたが(以前からやりたかった様です)、ろくに打ち合わせもしなかった割に、当日はお天気にも恵まれ大勢の方に来て頂き(これだけの方に来て頂けるとは思っていませんでした)、無事に行うことができました。

打ち合わせ不足の為に段取りが悪い部分もあったかもしれませんが、楽しんで頂けたのではないかと思います。



当日の写真です。

今年以降も引き続き行っていきたく思っていますので、皆様のご協力と昨年以上の参加をお願い致します。ご協力頂きました近隣の皆さん(快く案内のポスターを貼らせて頂きました)職員の皆さん、ありがとうございました。

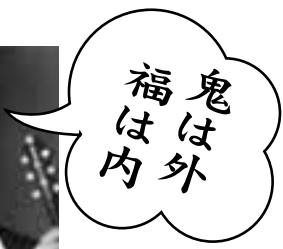
当日の写真です。



《節分》 ~緩和ケア~

緩和ケア病棟では2月2日各病室の入り口に魔よけのヒイラギとおじゃこを飾りつけ、翌日3日の節分には高野先生「扮する青鬼を先頭に各病室へ。鬼に驚かされているすきに患者様の手に豆を握ってもらい鬼目掛けて

鬼は外 福は内
鬼は退散、福笑いが残ったひと時でした。



きらきら

いくたびかこの手に受けし

優勝旗共進会のよろこびの日々

皆さんの御世話にこんなになりながら

なぜか涙がとまらない

頭口生きてせんない雪だるま

あなた待つ心のうちを伝へずに

ぐちばかり言いゆうべに帰しぬ

夏休み宿題の時計作ってくれた

おとなりの今なき先生想い出される

谷村 恭

このコーナーは、読者の皆様方の声広場です。
俳句・短歌・川柳・詩・身近な出来事・などたくさん投稿していただき、交流の場としてシリーズでお届けしていきたいと思っております。
ほのぼのと暖かいコーナーに育てていきたいので応援して下さい。
皆様の投稿をお待ち申し上げます。

この人だあ〜れっ?? の答え!

関南病院 クイズ



左の男の子は、放射線科医 目崎一成 先生です



右の女の子は、緩和ケア病棟 岡村長子主任です

あたしのすいーつめもりー

痩せるってホントに大変！耳のつぼに小さな金の球を貼り続けて五ヶ月、食欲を抑制し食習慣を見直して体質改善を図りました。言葉にするのは簡単だけど食べることが唯一の楽しみなのに腹六分目で我慢なんて、性格も変わりました。おやつによく食べたのが「スルメとお芋」夢の中でスルメが体重計に乗ってました。辛く厳しいダイエットもついに終わり、ハキ口痩せましたよ。これからはリバウンドに気をつけても、絶対太らない。

「女性は一生涯ダイエット」を胸に刻んで頑張ります。

もっ肩から足が生えてくるよ、なんて言わせない!

67.3kg 59.3kg

発行 医療法人久会関南病院
編集 関南病院新聞部
編集長 久直史
高知市知寄町一五一五
電話 〇八八八二二二六